

診療科 乳腺外科

分類 early breast cancer

1 / 1

レジメンNo. 09-SB006

休薬期間 20日

最大回数 999回

レジメン名称 DTX(q3w)療法

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1回投与量	速度指示	day(1)	day(2)	day(3)	day(4)	day(5)	day(6)	day(7)
01	持続末梢静脈維持ルートから 生理食塩液PL(フソー) 100ml ルートキープ	1瓶		00:00						
02	持続末梢静脈維持ルートから 30分かけて デキサート注射液「6.6mg-2mL」[デカトロン] 生理食塩液PL(フソー) 50ml	1瓶 1瓶		00:00						
03	持続末梢静脈維持ルートから 60分かけて ドセタキセル点滴静注「80mg-4mL」[タクトール] 5%ブドウ糖液 250ml 60~75mg/m ²	75mg 1袋	/m ²	00:00						
04	持続末梢静脈維持ルートから 生理食塩液PL(フソー) 50ml フラッシュ	1瓶		00:00						
終了										

レジメンコメント(医師専用)

ドセタキセル療法について

ドセタキセル療法とは、「タキサン」と呼ばれるグループに分類されるドセタキセルという抗がん剤による治療です。3週間ごとに点滴の治療を行います。副作用や血液検査の結果によっては、治療の間隔が長くなることがあります。

《標準的な治療スケジュール》



《1日の治療の流れ》

薬の名称（成分）	薬の作用（注意事項）	時間
①注射薬 生理食塩液	点滴で薬を入れる血管を確保する	
②注射薬 デキサート （デキサメタゾン）	浮腫（むくみ）の予防 アレルギー予防	約30分
③注射薬 ドセタキセル	がん細胞の増殖を抑える 点滴中に、息苦しい、からだがかゆい、顔がほてるなど、 気分がわるくなった場合はすぐにお申し出ください。 手足の皮膚や爪への副作用を少なくするため、凍結手袋 （フローズングローブ；Frozen Glove）などを付けて 手先と足先を低温に保つようにすることがあります。	約60分
④注射薬 生理食塩液	点滴管の中の薬を全て体の中に入れる	約5分

《点滴の翌日から必ず飲む薬》

薬の名称	薬の写真	薬の作用	飲み方
デカドロン錠 4mg	錠剤 包装形態	浮腫（むくみ） の予防	点滴の翌日から3日間（2日間の場合もあり）、 朝食後と夕食後に飲んでください。

《副作用が出始める時期》

※これらの副作用が全て出るということではありません。

アレルギー反応

点滴部位の痛み、下痢
吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振

遅延性の吐き気（悪心）・嘔吐

感染症、脱毛、筋肉・関節の痛み
下痢、口内炎、味覚異常、全身のだるさ

浮腫（むくみ）

しびれ、爪の変化、
涙目など

治療中、当日～数日

数日～数週間

数週間～数か月

《主な副作用》

脱毛

治療を開始してから2～3週間後に髪の毛が抜け始めます。

治療が終了してから2～3か月後に再び生え始め、半年くらいで回復してきます。

□対策1：体調のいいときに、かつらや帽子を準備しておきましょう。

□対策2：シャンプーは刺激の少ないものを使いましょう。

浮腫（むくみ）

浮腫（むくみ）は、からだの中に水分がたまっている状態です。

ドセタキセル療法を続けていると、顔や足に浮腫（むくみ）があらわれることがあります。

※症状によっては、からだの中の余分な水分を出す薬（利尿剤）を使用することもあります。

□対策1：からだをしめつけるような服やきつい靴は避けましょう。

□対策2：食事に気をつけて、塩分や水分のとりすぎに注意しましょう。

□対策3：いつも同じ時間に体重を測りましょう。

下痢

おなかが痛くなり、下痢が起こることがあります。治療当日だけではなく、翌日以降に起こる下痢があります。**水のようなひどい下痢が続く場合、下痢と同時に熱も出た場合は病院に連絡してください。**

□対策1：脱水を防ぐために水分を十分にとりましょう。

□対策2：乳製品や香辛料を控えましょう。

吐き気（悪心）・嘔吐

軽い吐き気（悪心）や嘔吐の症状があらわれることがあります。

治療当日に多い症状ですが、翌日以降にみられることもあります。

症状が強い場合は、次回に吐き気止めの薬を使用することができますので、医師に相談しましょう。

□対策1：なるべく水分をとるようにしましょう。

□対策2：食事は消化の良いものを少量ずつ数回にわけて食べるようにしましょう。

温かい食べ物は冷やしてから食べるようにしましょう。

□対策3：予め医師から処方された吐き気止めがある場合は、指示どおりにきちんと飲みましょう。

感染症

血液の成分のひとつに、白血球があります。白血球は身体を細菌から守る役割をしています。

しかし、治療によって白血球の減少がおこるため、細菌やウイルスに対する抵抗力が弱くなり、感染症にかかりやすくなります。

白血球は治療後1～2週間で最も低くなりますが、その後、少しずつ回復していきます。

もし、37.5度以上の熱が出た場合は薬を飲むなどの対応が必要です。病院に連絡してください。

まずは日常生活で感染を予防することが大切です

□対策1：手洗いうがいをこまめに行いましょう。

□対策2：人ごみに出るときにはマスクをしましょう。

